



1学期の様子と2学期への期待

3学年 北垣 利浩

4月、コロナウイルス感染症がおさまらないまま、中学校最後の年、最上級生の皆さんにとっては、思い通りにいかないことも多かったと思います。新1年生を迎える入学式に参加できなかったり、最高学年として手本を見せるはずだった生徒会に関わる行事も中止になったり、テレビ放送だったりもしました。5月20日から行く予定だった修学旅行まで、延期を余儀なくされました。コロナ対策の中、皆さんにとって中学校生活はつらい部分も多かったと思います。しかし、皆さんの中学校生活は進んでいきます。そんな中、1番努力したと思えることは、学習への取組です。1・2年生の時よりも集中した授業や提出物への取組が見られます。それは、今後も続けて行きましょう。

2学期に期待することは、最上級生として「らしい姿」を見せることです。もちろんこの状況ですから行事で見せることは難しい部分もありますが、それ以外にも見せられる部分は、学校生活でたくさんあります。ぜひ「ここをかたちに」を後輩に見せてあげてください。もう一つは「進路選択」です。自分自身の5年後、10年後を考えて「自分にとって一番最適」な進路選択をしてください。そのためには、学習はもちろんですが保護者や先生とたくさん相談して決めてほしいと思います。皆さんにとって実り多き2学期であることを期待しています。



主体的に取り組む態度について

2学年 福井 直樹

●生徒たちは、私たち教師が今までに経験したことがない、信じられないような学校生活を送っています。机を隣どうしてくっつけない、給食は向かい合うことなく前を向いて食べる、音楽と一緒に歌うことはできない、昼休みがたったの10分間、部活動が制限される、宿泊学習は延期、学校祭が中止、合唱コンクールの代わりに学年で1曲を歌うだけ、卒業式を見たことがない、素顔の写真が残らない、のような被害を受けています。学校は魅力を失っています。

●その理由はすべて上意下達のシステムにあります。学校は教育委員会からの指示で動き、教育委員会は文科省からの指示を待っています。本来は教育委員会が独自の活動を展開する余地もあるのですが、待っているだけに見えます。従って、学校が主体的に創造して取り組むことはできません。教師一人一人が「もしもこうしたら、もっといいのに」と願っても、実際に行動することはできないということです。学校はすべてを決められた枠の中で行っています。辞する覚悟の上でしか新しく創意工夫することはできないという状況に感じます。

●文科省が魅力ある教育を創造する力があればいいのですが、それがありませんから、今の状況に陥っているわけです。各学校や各教師が、はみ出すところが許されず、禁じられ、新しい何かを創ることができない以上、上ならば上の責任を果たしてほしいと考えています。

●一方、下達の内容は非常に効力が強い指示であるにも関わらず、大雑把であるため「細かいところは下で考えなさい」という事項が多すぎます。最近では評価の内容が大きく変更されましたが、実に掴みどころがない観点が追加され、どのように評価すればよいかという客観的な方法のモデルも示されていません。こういことにこそ、細かく指示してほしいのですが、それがありません。各学校で、各教師がそれぞれ試行錯誤するわけですから、今後は評価の方法や結果の格差が出現し、現場は混乱していくと予想しています。

●新しい観点として「主体的に取り組む態度」を伸ばすように指示されていますが、なぜそれを全国の全生徒に求めるのか、まず疑問に感じます。教育界では、小人数学級、校舎の構造改善・増築、道徳の教科化、教師のなり手不足、長時間労働などの問題がありますが、いずれも、何十年も前からあらかじめ予測し対処できたはずのことばかりです。今になって、主体的な生徒を育てる前に、上意の側に主体的な行動をしてほしいのです。

●それでもがんばるのが学校という職場の良さだと、いつも感じていますが。



素直な気持ち

1 学年 久保村泰輔

緊張で表情も歩き方も硬くなっていた入学式から、3ヶ月以上が経過しました。時が過ぎるのは早いと言いますが、私としてはまだこの子たちと出会って3ヶ月しか経っていないのかというのが正直な感想です。私たちにとっても、新しい出会いの中で充実した生活を送ることができている証拠だと思います。

4月の初めての学年集会で、学年教師を代表して、生徒たちに話をさせていただきました。

「みんなが新しい出会いに不安を感じている。そして、みんなが良い学級を作ろうと思っている。それなのになぜ、世の中には上手くいかない学級があるのだろう」という内容でした。職業柄、生徒たちの前で話すことには慣れていません。しかし、入学して間もない、私たちとの関係も希薄な状態の中での話でしたので、正直どの程度みんなの心に届くのか不安でした。しかし、各学級からは「なぜなんだろう」「どうして上手くいかないのか」というダイレクトな反応があったことを後から聞くことができました。

3ヶ月しか経っていませんが、とても”素直な生徒たち”と出会ったなと感じています。何でもできるわけではありません。でも、失敗したことや上手くいかなかったことに対して、挽回しようと努力できる人たちです。初めての定期テストも担任から「中学生は勉強する!」という叱咤激励に答えてくれる取組が多く見られました。たった2ヶ月で素敵どころがたくさん見つけられています。これからが本当に楽しみです。

エコアクション実施

6月23日(水)の放課後、「エコアクション」が行われました。生徒会執行部が全校生徒に呼びかけて、あいの里地区のゴミ拾いを行いました。自分たちの地域を自分たちの手できれいにしようと、170名ほどの生徒が楽しみながら真剣に参加していました。



7月行事予定

1日(木)	生徒会執行委員選挙 立候補受付開始
2日(金)	1学期の反省(6校時)
3日(土)	中体連
4日(日)	中体連
5日(月)	
6日(火)	2年生講話(5,6校時:体育館)
7日(水)	
8日(木)	期末懇談1日目
9日(金)	期末懇談2日目
10日(土)	中体連
11日(日)	中体連
12日(月)	期末懇談3日目 1年生体育大会 学年集会
13日(火)	期末懇談4日目 2年生体育大会 学年集会
14日(水)	期末懇談5日目 3年生体育大会 学年集会
15日(木)	職員会議【完全下校】
16日(金)	選挙管理委員会
17日(土)	中体連
18日(日)	中体連
19日(月)	靴箱清掃(奇数学級) 生徒会執行委員選挙 立候補受付メ切 3年生性の講話
20日(火)	靴箱清掃(偶数学級)
21日(水)	1学期終業式
22日(木)	夏季休業日(~8月22日)